

定例記者会見資料



公立大学法人
島根県立大学

○日 時	平成25年3月15日（金） 14時30分～
○会 場	島根県立大学 本部棟2階 特別応接室
○会見者	本田雄一 理事長・学長
○会見項目	【浜田キャンパス】 ・寄附講座の開講について……………【資料1】 【松江キャンパス】 ・2013年度松江キャンパス公開講座「椿の道アカデミー」について…【資料2】
○資料提供項目	【3キャンパス共通】 ・島根県立大学 総合政策学部入学式・大学院入学式……………【資料3】 ・島根県立大学看護学部・島根県立大学短期大学部専攻科入学式……………【資料4】 ・島根県立大学短期大学部入学式……………【資料5】 【浜田キャンパス】 ・平成24年度学生表彰（島根県立大学学長賞）……………【資料6】 【松江キャンパス】 ・福井一尊 作品展 「さんいんびより」について……………【資料7】 ・松江キャンパス文化情報誌「のんびり雲」写真展について……………【資料8】
○行事予定	

※会見及び資料提供に関する問い合わせは、資料に記載されている担当者あてにお願いします。

なお、行事予定の問い合わせは、以下のとおり、お願いします。

浜田キャンパス 総務課 TEL 0855-24-2200

出雲キャンパス 管理課 TEL 0853-20-0200

松江キャンパス 管理課 TEL 0852-26-5525

※次回の定例記者会見は 平成25年4月11日（木）13：30から開催します。

マスコットキャラクター「オロリン」です。



平成 25 年 3 月 15 日
島根県立大学 浜田キャンパス
担当 キャリア支援室
電話 0855-24-2202

寄付講座の開講について

1. 目的：島根県の中小企業・ベンチャービジネスの現状と課題を理解し、元気な中小企業・ベンチャービジネスの経営学を学ぶ
2. 開催期間：平成 25 年 4 月 4 日（木）～7 月 11 日（木）までの 15 回
3. 開催場所：島根県立大学浜田キャンパス教室
4. NPO 法人しまね未来創造が主催する寄付講座
5. 内容：島根県の元気な中小企業経営者や中小企業経営を支援する経営コンサルタント等評価高い実務家がリレー方式で講義する。県内はじめ全国各地の元気な中小企業・ベンチャービジネスを多数取り上げ、そこで実際行われている生きた経営学を学ぶ。
6. 学生と社会人（同 NPO 会員）の共同受講とする
7. シラバス案を添付する

以上

平成25年度 島根県立大学「実践中小企業・ベンチャー経営論」シラバス案

授業科目	実践中小企業・ベンチャー経営論
主担当教員	坂本光司
授業形態	講義と演習
授業目的	<p>小企業は大企業と比較して劣位・弱いというイメージがあるが、全国各地には大企業もかなわない高度な技術力・商品力・販売力・人財力・情報力等マネジメント力を有し、社会から高い評価を受けている中小企業も多くある。</p> <p>大企業の多くが円高等により海外シフトを拡大する中、今後の国内の雇用の維持拡大や地域経済の再生は、こうした元気な中小企業・ベンチャービジネスの経営にかかっていると言える。</p> <p>本講義では、全国各地の元気な中小企業・ベンチャービジネスを多数ケースに取り上げ、そこで実際行われている生きた経営学をふんだんに学ぶ。</p>
達成目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 元気な全国各地の中小企業・ベンチャービジネスについて 100社を語る事ができる。 2. 元気な中小企業・ベンチャービジネスの経営学を体系的に説明できる。 3. 島根県の中小企業・ベンチャービジネスの現状と課題を理解する。
授業内容	<p>第1回（4月4日(木)）オリエンテーション（講座の目的、受講の心構え、留意点） 講師：横田 学（島根県産業人材育成コーディネーター）</p> <p>第2回（4月11日(木)）イントロダクション（講義の内容と進め方） 講師：坂本 光司（法政大学大学院政策創造研究科教授）</p> <p>第3回（4月18日(木)）島根県の元気な中小企業・ベンチャー企業を学ぶ 講師：矢野 仁（島根県産業振興アドバイザー）</p> <p>第4回（4月25日(木)）元気な社員がいる会社のつくりかた 講師：小林 秀司（㈱SVC 代表取締役社長）</p> <p>第5回（5月2日(木)）21世紀を創る「価値ある企業」 講師：鎌田 恭幸（㈱鎌倉投信代表取締役社長）</p> <p>第6回（5月9日(木)）元気な中小モノづくり企業を学ぶ 講師：平谷 太（(株)シマネ益田電子取締役副社長）</p> <p>第7回（5月16日(木)）元気な住宅・建設関連産業を学ぶ 講師：荒木 恭司（島根電工(株)代表取締役社長）</p> <p>第8回（5月23日(木)）元気な中小小売業を学ぶ 講師：戸津川 健（(株)一番街代表取締役社長）</p> <p>第9回（5月30日(木)）元気な中小小売業を学ぶ 講師：新宮 正明（㈱めのや代表取締役会長）</p> <p>第10回（6月6日(木)）元気な中小IT企業を学ぶ 講師：石碓 修二（(株)オネスト代表取締役社長）</p> <p>第11回（6月13日(木)）元気な中小サービス業を学ぶ 講師：樋口 忠成（有福観光(株)代表取締役社長）</p> <p>第12回（6月20日(木)）元気な中小サービス業を学ぶ 講師：田中 正彦（㈱さんびる代表取締役社長）</p>

	<p>第 13 回（6 月 27 日(木)）元気な中小モノづくり企業を学ぶ2 講師：松場 登美（榊石見銀山生活文化研究所代表取締役社長）</p> <p>第 14 回（7 月 4 日(木)）元気な中小企業・ベンチャービジネス支援策 講師：長岡 明生（島根県商工労働部参事）</p> <p>第 15 回（7 月 11 日(木)） まとめ（元気な中小企業・ベンチャービジネスを地域はどう輩出するか） 講師：坂本 光司（法政大学大学院政策創造研究科教授）</p>
進め方	<p>講義は島根県をはじめ全国各地の元気な中小企業経営者や中小企業経営を専門とする経営コンサルタント等評価高い実務家がリレー方式で行う。</p> <p>15 回で取り上げる全国各地の中小企業・ベンチャービジネスは 100 社以上になる。</p> <p>講義中、可能な限り質疑応答の時間を設け、議論を深める。</p> <p>また、毎回の授業でミニレポートの課題を発表し、翌週の授業までに提出してもらう。</p>
キーワード	経営革新，ベンチャー，経営者，オンリーワン，人本経営
テキスト	講義内で適宜資料を配布する。
参考文献	<p>「日本でいちばん大切にしたい会社・2・3」あさ出版 2008 年、2009 年、2011 年</p> <p>「小さいけれど世界一誇りにしたい会社」ダイヤモンド社 2010 年、「小さいけれどいちばんの会社」デスカヴァー社 2011 年、「経営者の手帳」あさ出版 2010 年 (坂本光司 著)</p>
授業資料等	初回到授業全体の流れを整理したテキスト冊子を配布する。その他の資料・教材などについては授業の都度、適宜配布する。
成績評価方法	出席状況 20%、小レポート 50%、期末レポート 30%をベースに総合的に判断する。
履修上の指導	講義は毎回異なる講師が実際的な講義を行う。当然そのテーマに関する事前準備が必要である。受講生は授業前にテキストに従って次回講義の内容を理解し、参考文献・資料と比較して読んで来ることが求められる。よって、元気な中小企業・ベンチャービジネスの企業や就職等に関心のある、やる気溢れる積極果敢な学生の受講を求める。
オフィスアワー	毎回の講義前か講義終了後行う。また、毎回助手として島根県職員が参加するので、対応する。メールでの相談も可能。（佐藤：sato-natuo@pref.shimane.lg.jp）。
その他	受講生多数の場合、人数制限をすることがある。なお、授業内容に関する全体のコーディネーターは初回と最後の授業を担当する坂本教授がおこなう。

*開講に当たって

1. 本講座は、NPO 法人しまね未来創造が提供する寄付講座とする。
2. 学生と社会人の共同受講とする。
3. 受講生で講義の運営主体を作る（交流会の運営など）。
4. 講師の事業所を中心に現場の視察研修のサポートを行う。
5. 前半、中途、後半の 3 回程度、中小企業と地域産業理解のためのイベント（ディスカッションや交流会）を開催する。

2013年度 島根県立大学短期大学部松江キャンパス
公開講座

椿の道アカデミー

CAMELLIA ROAD

平成25年度の島根県立大学短期大学部松江キャンパスの公開講座「椿の道アカデミー」では、さまざまな世代やライフスタイルに合わせ、多くの方々に参加していただけるように、幅広い時間帯と多彩な講座を用意いたしました。自主参加方式の相互の自由なディスカッションを主体とした読書会もあります。ふるってお申込みくださいますよう、ご案内いたします。

		2013年	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014年	1月	2月	3月
平日	1	総合文化講座： 「文化とことば」について考える ▶水曜日 14:00～15:20(9/19は木曜日)		6/26 6/19	7/17	8/28 8/21	9/19 9/18	10/16	11/13					
	2	源氏物語を読む ▶水曜日 14:00～15:30 (6/19・6/26は15:30～17:00)		5/29 5/22	6/12 6/5	6/26 6/19	7/10 7/3							
	3	出雲神話翻訳研究会 ▶金曜日 15:00～17:00		6/28 6/21	7/26 7/19		9/27 9/20	10/4						
	4	英語絵本の音読と 「読み聞かせ」に挑戦 ▶月曜日～金曜日 10:40～12:10			7/29～8/2									
	5	椿の道読書会 ▶月曜日 14:00～16:00		5/20	6/17	7/22	9/9	10/21	11/18	12/16				3/17
	6	子育て・孫育て世代のための 子ども理解講座 ▶火曜日 14:00～15:30						10/22 10/15	10/29					
平日夜	7	健康栄養講座：島根の食と健康 ▶火曜日 19:00～20:30 (9/17は18:00～20:30)				8/27 8/20	9/10 9/3	9/17						
	8	栄養士のためのステップアップ講座 ▶【通常講義】第2・第4水曜日 19:00～21:00 (8月は第1・第4水曜日) 【集中講義】8・9月の土日 10:00～16:30	【通常講義】	7/10	7/24	8/7	8/28	9/11	9/25	10/9	10/23	11/13	11/27	12/11
土日	9	食育講座：料理ができるようになりたい 男性の、食の自立を支援する ▶土曜日 10:00～13:00				8/24	9/7							
	10	山陰民俗学会連携講座： 民俗の行方 ▶土曜日 13:00～15:00			7/20 7/6	8/24 8/10								
	11	民族音楽の楽しみ：ガムラン教室 ▶土曜日 14:00～16:00		6/15 6/1	7/27 7/13	8/3	9/21	10/19 10/5	11/16 11/2					
祝日	12	文化資源探求講座： 出雲神話をあぐる ▶10/14 9:20～17:30						10/14						

平日昼の部

1 総合文化講座：「文化とことば」について考える〈全9回〉

さまざまな角度から「文化とことば」について、皆様と一緒に考えようとする講座です。

- 開講日／①6/19 ②6/26 ③7/17 ④8/21 ⑤8/28 ⑥9/18 ⑦9/19 ⑧10/16
⑨11/13
- 曜日／水曜日（9/19は木曜日）
- 時間／14:00～15:20
- 場所／体育館研修室
- 定員／100名
- 講師／総合文化学科教員・出雲キャンパス教員・浜田キャンパス教員

プログラム

- | | | |
|--------|--|------------------|
| ①6/19 | 人は何をことばにするか？ | 高橋 純（総合文化学科准教授） |
| ②6/26 | 祝福とともに生きる—『出雲国風土記』の地名伝承— | 村上桃子（総合文化学科講師） |
| ③7/17 | 政治家はなぜ言葉を磨くのか—文化・政治・レトリカ（修辞学）— | 村井 洋（浜田キャンパス教授） |
| ④8/21 | 心象文法の可能性を探る | 河原修一（総合文化学科教授） |
| ⑤8/28 | 旅する現代アートと文学～造形美術展「オープン・マインド・オブ・ラフカディオ・ハーン」の軌跡～ | 小泉 凡（総合文化学科教授） |
| ⑥9/18 | 宮沢賢治と日本の近代文学 | 岩田英作（総合文化学科教授） |
| ⑦9/19 | 翻訳作品で学ぶ英語の言語と文化 | 田中芳文（出雲キャンパス教授） |
| ⑧10/16 | 旅と信じること：インドネシアからのメッカ巡礼を例として | 塩谷もも（総合文化学科准教授） |
| ⑨11/13 | 朝鮮半島の文化を「理解」する？ | 福原裕二（浜田キャンパス准教授） |

2 源氏物語を読む—恋に殉じた青年の話—〈全8回〉

権力の頂点を極めた光源氏は、皇女を妻に迎えた。画竜点睛と云うべきか、六条院はこの世の極楽として完成されたのである。同時に其れは滅びへの第一歩。若い貴公子は若妻に恋し、あの光源氏が妻を盗まれる。貴公子の名は柏木。儚く散った柏木の悲恋物語を楽しみましょう。

- 開講日／①5/22 ②5/29 ③6/5 ④6/12 ⑤6/19 ⑥6/26 ⑦7/3 ⑧7/10
- 曜日／水曜日
- 時間／14:00～15:30、15:30～17:00（6/19・6/26の2回）
- 場所／体育館研修室
- 定員／100名
- 講師／三保サト子（本学名誉教授）
- テキスト／新潮日本古典集成『源氏物語 五』（若菜・柏木巻、3,465円）初回の講座前に販売。希望者は申込書に記入のこと。原文が収められていれば各社文庫本等も可。

3 出雲神話翻訳研究会〈全7回〉

この講座では、昨年度に引き続き、岩波ワイド版「古事記」をテキストに、出雲神話の現代語訳と英語訳に取り組む本学研究会の講師がお話をします。現代語に取り組むのは、元学長の藤岡大拙先生、英語訳は総合文化学科英語文化系の教員です。

- 開講日／①6/21 ②6/28 ③7/19 ④7/26 ⑤9/20 ⑥9/27 ⑦10/4
- 曜日／金曜日
- 時間／15:00～17:00
- 場所／体育館研修室
- 定員／100名
- 岩波ワイド版48『古事記』倉野憲司校注（定価1,300円＋税）を初回に販売します。購入を希望される方は、申込書に記入してください。

プログラム

① 6/21	現代語訳解説その1	藤岡大拙 (元本学学長)
② 6/28	現代語訳解説その2	藤岡大拙 (元本学学長)
③ 7/19	現代語訳解説その3	藤岡大拙 (元本学学長)
④ 7/26	現代語訳解説その4	藤岡大拙 (元本学学長)
⑤ 9/20	英語訳解説その1	小玉容子 (総合文化学科教授)
⑥ 9/27	英語訳解説その2	松浦雄二 (総合文化学科准教授)
⑦ 10/4	英語訳解説まとめ (予定)	出雲神話訳訳研究会メンバー

4 英語絵本の音読と「読み聞かせ」に挑戦〈全5回〉

英語の絵本や多読用図書(レベル別の読み物で、やさしい本からスタートします)と一緒に音読して楽しみましょう。読み聞かせにも挑戦します。英語初習者向け講座ですが、文法の説明や英語の日本語訳などはしません。絵本やストーリーを楽しみながら、海外の文化にも少々触れられますし、英語の基礎力アップにもつながるでしょう。

- 開講日／① 7/29 ② 7/30 ③ 7/31 ④ 8/1 ⑤ 8/2
- 曜 日／月曜日～金曜日
- 場 所／図書館グループ閲覧室
- 対 象／中学生以上のどなたでも
- 時 間／10:40～12:10
- 定 員／10名程度
- 講 師／小玉容子 (総合文化学科教授)

5 椿の道読書会〈全8回〉

兼「まつえ市民大学連携講座」

松江キャンパス図書館で実施する読書会です。文学書、教養書などの本の中から、事前に話し合ってから読書会で採り上げる本を1冊決めておき、当日、その本の感想などをもとに、ディスカッションします。

- 開講日／① 5/20 ② 6/17 ③ 7/22 ④ 9/9 ⑤ 10/21 ⑥ 11/18 ⑦ 12/16 ⑧ 3/17
- 曜 日／月曜日
- 場 所／図書館グループ閲覧室
- 講 師／北井由香 (本学図書館主任司書)
- 読書会で採り上げる本(8回分)は、受講予定者の方々にお知らせします。
- 時 間／14:00～16:00
- 定 員／15名

6 子育て・孫育て世代のための子ども理解講座〈全3回〉

子どもの社会を読み解く視点を通じて、子どもと日々かかわる方が子ども理解をいっそう深めることをお手伝いする講座です。お子さん・お孫さんをお持ちの方、ぜひご参加ください。保育者としてお勤めの方、子どもに興味のある方のご参加も歓迎します。

- 開講日／① 10/15 ② 10/22 ③ 10/29
- 曜 日／火曜日
- 場 所／体育館研修室
- 対 象／どなたでも
- 時 間／14:00～15:30
- 定 員／15名程度
- 講 師／矢島毅昌 (保育学科講師)

プログラム

- ① 10/15 子どもを育むコミュニケーション
- ② 10/22 子ども向けの文化財
- ③ 10/29 子どもをとりまく社会現象

平日夜の部

7 健康栄養講座：島根の食と健康〈全5回〉

兼「まつえ市民大学連携講座」

島根県は、全国に先駆けて高齢化が進んでおり、健康で明るく生きがいをもって生活できる社会の実現を積極的に図っていくことが必要です。この講座では、島根県における健康長寿日本一を目指した取り組みや、加齢と老化に対応するために健康寿命を獲得する方法、そして、全国でも糖尿病有病率の高い島根県における糖尿病予防のための食材や、島根県で開発・利用されている機能性食品について紹介します。調理実習では、実際に島根県内の食材を利用して、ご家庭でも作れる美味しくかつ機能性に富んだメニューを紹介します。地域の皆様それぞれが自分にあった健康づくりを目指し、その実現を図るための参考にさせていただければと思います。

- 開講日／①8/20 ②8/27 ③9/3 ④9/10 ⑤9/17
- 曜日／火曜日
- 時間／19:00～20:30（9/17（調理実習時）のみ18:00～20:30）
- 場所／臨床栄養実習室および調理実習室
- 定員／20名
- 講師／健康栄養学科教員
- 9/17には調理実習を行いますので、エプロンと三角巾、マスクをご持参ください。なお、材料費として、500円の実費徴収をいたします。

プログラム

- | | | |
|-------|----------------------|---|
| ①8/20 | 島根県における健康づくりへの取り組み | 名和田清子（健康栄養学科教授） |
| ②8/27 | 健康寿命の生物学：加齢と老化 | 直良博之（健康栄養学科教授） |
| ③9/3 | 糖尿病予防のメカニズムと地域食材の利用 | 籠橋有紀子（健康栄養学科准教授） |
| ④9/10 | 島根県の食材を利用した機能性食品について | 赤浦和之（健康栄養学科教授） |
| ⑤9/17 | 島根県の食材を使った調理実習 | 小柏道子（健康栄養学科教授）
坂根千津恵（健康栄養学科助教）
水 珠子（健康栄養学科助教） |

8 栄養士のためのステップアップ講座〈通常講義12回・集中講義4回〉

管理栄養士国家試験を受験する方々をサポートするための試験対策講座です。試験科目のうち「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」「食べ物と健康」「基礎栄養学」「応用栄養学」「栄養教育論」「臨床栄養学」「給食経営管理論」を重点的に行います。

- 開講日／【通常講義】①7/10 ②7/24 ③8/7 ④8/28 ⑤9/11 ⑥9/25 ⑦10/9
⑧10/23 ⑨11/13 ⑩11/27 ⑪12/11 ⑫12/25（全12回）
【集中講義】①8/31 ②9/1 ③9/21 ④9/22（全4回）
- 曜日／【通常講義】第2・第4水曜日（7月～12月）※8月はお盆と重なるため第1・第4水曜日
【集中講義】8月および9月の土日
- 時間／【通常講義】19:00～21:00
【集中講義】10:00～16:30（90分講義×3回）
- 場所／臨床栄養実習室
- 定員／40名
- 対象／卒業生・島根県内の栄養士の方
- 講師／健康栄養学科教員

土曜日の部

9 食育講座：料理ができるようになりたい男性の、食の自立を支援する —（続）和食の基本調理実習—〈全2回〉

男性の食の自立を支援するための調理実習講座です。

- 開講日／①8/24 ②9/7
- 曜日／土曜日
- 時間／10:00～13:00
- 場所／調理実習室
- 定員／20名
- 対象／食の自立をめざす15歳以上の男性
- 講師／小柏道子（健康栄養学科教授）、坂根千津恵（健康栄養学科助教）
水 珠子（健康栄養学科助教）
- 調理実習を行いますので、エプロンと三角巾、マスクをご持参ください。なお、材料費として1回分500円の実費徴収をいたします。材料注文の都合上、両日ともに講座日の3日前までに出席の有無を電話でご連絡ください。

プログラム

- ①8/24 海の幸：魚料理「煮魚」＋豆腐料理
- ②9/7 山の幸：野菜料理「天ぷら」＋卵料理

10 山陰民俗学会連携講座：民俗の行方～山陰のフィールドから考える～

〈全4回〉 兼「まつえ市民大学連携講座」

高度経済成長を経た日本。日常の暮らしや祭り、民俗は著しく変容しました。新しい暮らしや様変わりした祭りの行く末はどうなるのか。民俗の何が変わり何が変わっていないのか。山陰という具体的なフィールドの中から、世相や暮らし、民俗行事、祭礼など、各回テーマを変えて、民俗の変容と今後を考えます。

- 開講日／①7/6 ②7/20 ③8/10 ④8/24
- 曜日／土曜日
- 時間／13:00～15:00
- 場所／体育館研修室
- 定員／100名
- 講師／山陰民俗学会理事および本学教員

プログラム

- ①7/6 護符文化の変遷 小泉 凡（総合文化学科教授）
- ②7/20 年中行事・祭の変化と継承 品川知彦（島根県教育庁文化財課企画員）
- ③8/10 民俗芸能の伝承と学校教育 多田房明（美郷町立大和小学校校長）
- ④8/24 出雲・石見の年中行事のいま 浅沼政誌（島根県立古代出雲歴史博物館交流普及グループ課長）

11 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室〈全10回〉

兼「まつえ市民大学連携講座」

インドネシアの民族楽器であるガムランを実際に演奏してみようという、初心者向けの教室です。やさしい楽器から難しい楽器まで様々ですが、みんなで息を合わせて曲に仕上げていく楽しみがあります。楽器は初めてという方も気軽にご参加下さい。

- 開講日／①6/1 ②6/15 ③7/13 ④7/27 ⑤8/3 ⑥9/21 ⑦10/5 ⑧10/19
⑨11/2 ⑩11/16
- 曜日／土曜日
- 時間／14:00～16:00
- 場所／秋奥ガムラン音楽堂（松江市八雲町西岩坂2236）（6/1・9/21は本学体育館研修室）
- 定員／25名程度
- 講師／瀬古康雄（元本学教授）
- 現地集合が原則ですが、希望者には送迎もあります。



祝日の部

12 文化資源探求講座：出雲神話をあぐるく—Part 2—

出雲神話ゆかりの地を訪問し、文化資源としての出雲神話を体感する日帰りバスツアーです。今年は、黄泉比良坂（松江市東出雲町）、毘売塚古墳（安来市姫崎町）、清水寺、比婆山（安来市伯太町）など出雲東部に出かけます。

- 日 時／10/14（月・祝日）
- 時 間／集合場所：短大玄関前 9：20
解 散：短大玄関前 17：30頃
- 講 師／岡部康幸氏（松江今井書店編集顧問）、小泉 凡（総合文化学科教授）
- 定 員／50名
- 参加費／2,000円（昼食代を含む）を当日ご持参ください。

この部分を切り取ってください。

2013年度 島根県立大学短期大学部松江キャンパス公開講座 申込書

ふりがな			男 ・ 女
お 名 前			歳
ご 住 所	〒 -		
電話番号		FAX番号	
メールアドレス			

参加申込講座（ご希望の講座に○をつけてください）

1 総合文化講座：「文化とことば」について考える	7 健康栄養講座：島根の食と健康
2 源氏物語を読む（テキスト購入希望 あり・なし）	8 栄養士のためのステップアップ講座
3 出雲神話翻訳研究会（テキスト購入希望 あり・なし）	9 食育講座：料理ができるようになりたい男性の、食の自立を支援する
4 英語絵本の音読と「読み聞かせ」に挑戦	10 山陰民俗学会連携講座：民俗の行方
5 椿の道読書会	11 民族音楽の楽しみ：ガムラン教室
6 子育て・孫育て世代のための子ども理解講座	12 文化資源探求講座：出雲神話をあぐるく—Part 2—

- 受付開始
4月1日(月)
- 申込締切
4月15日(月)

参加申込講座に○をつけてお送りください。何講座でも受講できます。

※日程変更等のご連絡をさせていただいたため、連絡先（電話番号・FAX番号・メールアドレス等）を必ずご記入ください。

※個人情報は公開講座以外では使用いたしません。

椿の道アカデミーお申込み方法

裏面の申込書に必要事項をご記入のうえ、返信用封筒（ご自宅の住所・氏名を明記し、80円切手を貼って）を必ず同封して郵送してください。「受講講座決定通知書」と「会員登録の手続き」に関する説明書をお送りいたします。

※ 受講には会員登録（年間2,000円）が必要です。

※ 大学生以下は会員登録料無料です。

※ テキスト代・材料費など実費が必要な講座があります。

※ お一人様何講座でもお申込みいただけます。

※ お申込みの受付は先着順に行います。定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承ください。

※ 講座の会場は変更する場合があります。管理棟玄関の掲示板「本日の公開講座」でご確認ください。

- 受付期間 **平成25年 4月 1日(月)～4月15日(月)** 当日消印有効
- 宛 先 〒690-0044 松江市浜乃木7丁目24-2
島根県立大学短期大学部松江キャンパス 公開講座係
- お問合せ **TEL 0852-26-5525** (土日祝を除く 8:30～17:15)



会場への アクセス

- 松江中央ランプおよび松江西ランプから車で2～3分
- JR松江駅から車で15分
- 市営バス（1番のり場）をご利用の場合（所要時間約30分）
南循環外回り（約30分間隔）「県立短大前」下車

島根県立大学短期大学部松江キャンパス

〒690-0044 島根県松江市浜乃木7丁目24-2 TEL 0852-26-5525 (代表)
<http://matsuec.u-shimane.ac.jp>



島根県立大学
マスコットキャラクター
「オロリン」

【資料3】

平成 25 年 3 月 15 日
島根県立大学浜田キャンパス
総務課 宍戸・藤本
TEL 0855-24-2200

島根県立大学 総合政策学部入学式・大学院入学式について

平成 25 年度の総合政策学部入学式及び大学院入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

日 時 平成 25 年 4 月 3 日(水) 11:00～12:00 (新入生入場 10:30 まで)

場 所 島根県立大学浜田キャンパス 講堂 (浜田市野原町 2433-2)

- 式次第
- (1) 開式の辞
 - (2) 総合政策学部入学許可宣言
大学院入学許可宣言
 - (3) 入学生宣誓
 - (4) 学長式辞
 - (5) 知事祝辞
 - (6) 来賓祝辞
 - (7) 大学歌斉唱
 - (8) 閉式の辞

その他

- ・当日午前 10 時から関係資料を講堂受付にて配布します。

平成25年3月15日
 島根県立大学出雲キャンパス
 教務学生課 小林・矢富
 TEL 0853-20-0215

平成25年度島根県立大学看護学部・島根県立大学短期大学部専攻科入学式について

平成25年度の島根県立大学看護学部・島根県立大学短期大学部専攻科入学式を下記のとおり挙行いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 日時・次第について

日時 平成25年4月4日(水) 10:00～11:00 (新入生入場 9:45 まで)

場所 島根県立大学出雲キャンパス 体育館 (出雲市西林木町 151)

進行	9:00	受付開始 (入学生・保護者等入場)
	9:45	入学生等入場完了
	9:55	教員入場完了
	9:59	来賓入場
	10:00	入学式
		(1) 開式の辞
		(2) 看護学部入学許可宣言 短期大学部専攻科入学許可宣言
		(3) 入学生宣誓
		(4) 学長式辞
		(5) 来賓祝辞 (島根県知事・島根県議会議長・出雲市長)
		(6) 大学歌斉唱
	11:00	(7) 閉式の辞 来賓退場

2. 入学予定者数 ※3月15日現在

島根県立大学看護学部看護学科	86名
島根県立大学短期大学部専攻科	
公衆衛生看護学専攻	30名
助産学専攻	18名
計	134名

3. その他

取材の際は当日午前9時に出雲キャンパス1階事務室にご集合ください。



島根県立大学
 マスコット
 キャラクター
 オロリン

平成25年度入学式日程

島根県立大学短期大学部
松江キャンパス

【月 日】 平成25年4月4日（木）

【場 所】 島根県民会館 中ホール（松江市殿町158）

【日 程】

12:30 受付開始

13:10 入学生入場終了

13:25 教職員入場終了

13:29 来賓入場

13:30 開 式

〔式 次 第〕

開 式 の 辞
入 学 許 可 宣 言
入 学 生 宣 誓
学 長 式 辞
来 賓 祝 辞
来 賓 紹 介
祝 電 披 露
閉 式 の 辞

14:30 閉 式（予定）

平成 25 年 3 月 15 日
 島根県立大学
 浜田キャンパス教務学生課
 担当：岩本、太田敬
 電話：0855-24-2213

平成 24 年度学生表彰

「島根県立大学賞」の授与について（浜田キャンパス）

1 趣旨

島根県立大学賞は、学術、芸術、スポーツ、文化活動及び社会活動において他の学生の模範となる活動を行い、又は優秀な成果を挙げた島根県立大学の学生（個人又は団体）に対して、表彰するものである。

なお、この島根県立大学賞には、次の5部門を設けている。

(1) 学術部門 (2) 芸術部門 (3) スポーツ部門 (4) 文化活動部門 (5) 社会活動部門

2 平成 24 年度受賞者 13 (個人：10 名、団体：3 団体)

(1)

受賞者	4 年生 <small>いけだ たくや</small> 生田 卓也 【個人】
部門	社会活動
理由	<p>1 年生の時から優れた英語の能力を持ち、平成 21 年度に本学で開催された国際学会のボランティアスタッフとして、日本語ができない出席者の案内などの支援を積極的に行った。平成 22 年度には一泊二日の江津市中学生英語キャンプで、中学生と ALT とのコミュニケーションを援助した。平成 22、23 年度には本学の多読アシスタントとして 1 年生の英語学習をサポートし、平成 24 年度には後輩の英語力を上達させるチューターとして活動した。</p> <p>また、平成 22 年度から国際交流会館留学生サポーターとして留学生支援にあたり、平成 23 年度には寮長に就任して寮での様々な問題解決に大きな役割を果たした。平成 24 年度には蔚山大学校研修生のチューターを務めたほか、「国際文化交流の夕べ」の実行委員を務めた。</p> <p>以上のように、得意の英語に限らず、様々な国際交流事業へ積極的に携わり、多大なる貢献をした。</p>

(2)

受賞者	4 年生 <small>こうの みさと</small> 河野 美里 【個人】
部門	文化活動
理由	<p>学内に留学に関する身近で有効な情報が十分ではない状況に気づき、自らの中国留学から得た知識を基に、情報を体系的に集約し、これを体験談発表・トークセッション・ブース形式の相談会の形で学生に周知することで、留学を希望する学生に活用してもらおうと「留学体験談報告会」を率先して自主的に計画・立案・実施して成果を収めた。特に、ゼミでの報告を契機に発案を具体化し、中心となって他の留学経験を持つ学生を集めて組織し、その後教職員を巻き込んで企画を練り、全学参加の報告会へと育て上げた実行力はすばらしい。この活動は、①「問題発見、解決策の立案、実践を行う学問」である総合政策学を体現したものである点、②学年・留学形態を問わず経験者を取り込み、活動をとともにすることで継続性が見込めるものとした点、③大学ホームページにおける「留学情報」ページ新設の契機となった点などにおいて顕著な意義が認められた。</p>

(3)

受賞者	4年生 ^{たまき} 玉木 さくら 【個人】
部門	文化活動・社会活動
理由	<p>短期大学部在学中から行ってきた絵本の読み聞かせの活動を、総合政策学部編入学後さらに発展させることで、本学学生と小学生、地域住民、行政、支援機関などとの交流促進に多大なる貢献をした。</p> <p>平成23年11月から絵本の読み聞かせサークル「ゆるりの会」を立ち上げ、浜田市内の小学校を中心に絵本の読み聞かせ事業を行った。</p> <p>また、同年8月から1年間「観光大使はまだ」として浜田市の観光振興に尽力した経験を生かし、絵本の読み聞かせによるふるさと教育と観光情報発信を同時に達成する「ご当地絵本」のアイデアを持つに至り、島根県立大学産業コンテスト「MAKE DREAM 2011」においてそのアイデアを「はまだ・絵本」というビジネスプランとして発表し、最優秀賞を受賞した。</p> <p>その後、行政・商工会、地元企業と連携し「はまだ・絵本」を実際に作成する中心人物として活躍した。サークル活動や「はまだ・絵本」作成の資金確保については、島根県が支援を行う基金などに自ら申請を行い採択されるなど、学部生の活動の域を超えた積極的な活動を行った。</p>

(4)

受賞者	4年生 ^{なかそね} 仲宗根 ^{だいすけ} 大輔 【個人】
部門	社会活動
理由	<p>本学学生と高校生及び小学生との交流促進において多大なる貢献をした。</p> <p>島根大学の学生との間で設立した高校生のキャリア教育などを行う任意団体「島根わさび計画」の発起人であり、県教育委員会やNPOなどと連携を取りつつ、県内の高校に出向き「学生の目線」からの高大連携に積極的に取り組んだ。その活動は本学学生にとどまらず、島根大学生や島根県内の高校生などの間にも大きな拡がりを見せている。</p> <p>小学生との連携については、平成21～23年度の3年間にわたり、小学生に経営を教える事業である「ベンチャーキッズスクール」の運営を地元商工会との連携で行う中心人物として活躍した。</p> <p>また、小学生との交流を行うBBSサークルの副部長として活動した経験を生かし、こども向けのオープンキャンパス「それゆけキャンパスたんけんキッズ！」を企画・運営する中心人物として活躍した。</p> <p>その他、石見海浜公園ではライフセーバーとして小学生に海辺の環境に関する授業を実施したり、島根県立少年自然の家では、キャンプのボランティアリーダーとして活躍したりするなど小学生との交流に関して多大なる貢献をした。</p> <p>なお、ボランティア活動にも積極的で、平成23年度には東日本大震災被災地でのボランティア活動に計3回参加したほか、年間30回を超える地域ボランティア活動に取り組んだ。</p>

(5)

受賞者	4年生 葉棚 翔伍 【個人】
部門	社会活動
理由	<p>多くのボランティア活動に積極的かつ持続的に取り組んだ。その活動のほとんどは、教育に関するものや、困難を抱えている人々の活動の手伝いをするものであった。その活動に関係している人々やご家族から感謝されることも多かった。</p> <p>特に、浜田養護学校の放課後児童クラブでの活動では、2年間にわたり週2～3回の頻度で、障害をもつ児童の支援に携わった。この活動について、心理学入門の授業で報告してもらったところ、受講生達は多くを学ぶことができた。</p> <p>ボランティア活動による地域貢献だけでなく、大学での学業成績も目を見張るものがあり、教育実習では実習校から高い評価を得た。</p>

(6)

受賞者	4年生 山野 恵実 【個人】
部門	社会活動
理由	<p>当該学生は他の学生が大学でより学べる機会を追求した。例えば、平成22～24年度には国際交流会館留学生サポーターとして留学生のサポートを行った。</p> <p>平成22、23年度にはチューターとして補習英語のサポートを行ったが、平成23、24年度には、より多くの学生の学習をサポートするために、英語以外の科目におけるチュータープログラムの企画をした。平成23、24年度の「大学生活を10倍楽しむプログラム」では、新入生が大学の生活に馴染めるように企画に携わった。また平成24年度には、浜田市内の中学校で期末試験の試験勉強を自主的に手伝った。</p> <p>当該学生は、国際的なサポート活動も行った。平成21年度には国際会議のGP学会とPGL学会において学生スタッフを務めるとともに、異文化理解研修（アメリカ）に参加した。平成22年度にも同研修に参加するとともに積極的に後輩のサポートを行った。</p> <p>平成24年度には、内閣府が主催する日本・中国青年親善交流事業に参加した。</p> <p>最近では、ベトナムの貧しい子どもたちにより良い教育の機会を与えるための活動を企画し、平成22、24年度には、島根県での資金集めのイベントを計画するとともに、ベトナムでのボランティア活動参加者の旅行日程の企画や調査、ビザ申請を行い、数千人もの恵まれない子どもたちに衛生的な水、学校給食、教材、質の高い教育を受ける機会を供給した。</p> <p>成績も優秀で、平成23年度には成績優秀学生に選ばれた。</p>

(7)

受賞者	4年生 李 昊然 【個人】
部門	社会活動
理由	<p>中国語を学ぶ市民の団体である浜田中国語友の会において、これまで何度も講師を務め、中国語を教える、中国の社会や文化についての話をするなどした。また、島根県立大学留学生等を囲む会が毎年6月に主催する「石見の海に親しむ集い」においては、留学生をまとめる役割を積極的に担い、留学生、一般学生と市民との交流に大きく貢献した。さらに、本学の「国際文化交流の夕べ」においては、2部のイベントに積極的に参加し、会を盛り上げた。「好好サークル」のリーダーとして、日常的に留学生と一般学生の交流を進め、「中国語スピーチコンテスト」においては、司会や審査員を務めた。さらに、市民の漢詩の会や詩吟の会などにも参加し、市民との交流を深めた。</p> <p>以上のように、交流県留学生の本分を十分に自覚し、留学生と一般学生、留学生と市民との交流に多大なる貢献をした。</p>

(8)

受賞者	北東アジア開発研究科2年生 龔 群 【個人】
部門	文化活動・社会活動
理由	<p>現在政治的な緊張が高まり、悪化が懸念されている日本と中国の関係に心を痛め、本学在学中に日中の文化交流の架け橋となるべく、数多くの日本の小説を中国語に翻訳し、中国で出版するという文化活動を行った。具体的には、本学在学中の2年間に12冊の書籍を翻訳し、1年生の時に、松本清張『歪んだ複写』、今野敏『曙光の街』、今野敏『白夜街道』の3冊を出版、2年生の時に、今野敏『東土の密約』、東川篤哉『学ばない探偵たちの学園』などの9冊を出版した（出版予定のものを含む）。</p> <p>また、社会活動としても中国新聞社のキャンパスレポーターとして採用され、積極的に学内のニュースを取材した。特に2年生の夏休みには、奈良県が主催した「第2回東アジアサマースクール『NARASIA 未来塾』」に自ら参加し、東アジア諸国の歴史や文化、政治経済、社会事情を学ぶとともに、その様子を当該学生が取材・執筆した新聞記事が平成24年9月17日の中国新聞に掲載された。</p> <p>こうした文化・社会活動と並行して、優れた修士論文を執筆し、学業成績が特段に優秀であったことも特筆される。</p>

(9)

受賞者	北東アジア開発研究科2年生 虎 永興 【個人】
部門	社会活動
理由	<p>江津市において中国語を学ぶ市民のために毎週1回中国語を教え、受講者から好評を得た。浜田中国語友の会においても、これまで何度も講師を務め、中国語を教える、中国の社会や文化についての話をするなどした。また、島根県立大学留学生等を囲む会が毎年6月に主催する「石見の海に親しむ集い」においては、留学生をまとめる役割を積極的に担い、留学生、一般学生と市民との交流に大きく貢献した。さらに、本学の「国際文化交流の夕べ」においては、2部のイベントに積極的に参加し、会を盛り上げた。「中国語スピーチコンテスト」においては、審査員を務めた。</p> <p>以上のように、交流県留学生の本分を十分に自覚し、留学生と一般学生、留学生と市民との交流に多大なる貢献をした。</p>

(10)

受賞者	北東アジア開発研究科2年生 河野 純一 【個人】
部門	学術・社会活動
理由	<p>「石見郷土研究懇話会」において、歴史学者「服部之聡」の業績とその「石見」へのかかわりを紹介した。</p> <p>平成24年9月17日に石見文化ホールで開催された同懇話会大会で、服部之聡について、明治維新の本質を解明した「明治維新史」を著した業績や、幕末から敗戦までの日本近代史の流れを論理的に説明した点などを紹介した。そして、彼が那賀郡木田村（現浜田市旭町）の浄土真宗本願寺派・正蓮寺の長男に生まれ、浜田中学から三高・東大に進んだことから、その親鸞・蓮如研究や、維新史における津和野本学や西周の役割の重視が生じたと指摘した。</p> <p>この取り組みは、来場者の郷土の歴史や偉人への理解を深めることに大きく寄与し、社会的・学術的意義が大きく、他の学生の範となる活動であった。</p>

(11)

受賞者	石見地方の英語ガイドを作成したケインゼミ 【団体】
部門	社会活動
理由	<p>ゼミ生が2年生の時から2年間かけ、石見地方の英語ガイド（ブログ、フェイスブック、ツイッター、QRコード付地図）を作成した。</p> <p>英語で書かれた日本についてのガイドブックを見ると、石見についての情報は数行しかない。ゼミ生が浜田をはじめ、三瓶山から津和野までの情報を書き、石見の観光スポットのPRをした。現在ブログのアクセスが12,000件を超え、100カ国以上で閲覧されている。地元のレストランや施設を紹介し、メニューを翻訳し、ブログで漢字が読めない人のための道案内などに工夫した。</p> <p>彼らが一生懸命この取り組みに参加し、いろいろなアイデアを出し、浜田市との共同研究にもなり、ブログにすぐアクセスできるQRコード付地図の作製を提案し、印刷会社と交渉し、現在市内に配布してある。</p> <p>主に外国人を対象とした石見地方の観光振興に貢献するものと判断された。</p>

(12)

受賞者	「留学生体験談報告会」実行メンバー 【団体】
部門	文化活動
理由	<p>中国、韓国、ニュージーランド、オーストラリアに留学した学生達が、平成24年12月10日に自主的に「留学生体験報告会」を開催した。約20名の留学を考えている学生が参加し、極めて有意義なものとなった。</p> <p>当該メンバーは、本学において、身近で有効な留学に関する情報が十分ではないと感じていた。そこで、彼らが自らの留学で得た知識と経験を体系的に集約し、留学を希望する学生に伝えようと、JICA及び本学の教職員の協力を得て、自主的に「留学生体験報告会」を企画立案し、組織計画し、実施した。報告会は、これを体験談発表、トークセッション、ブース形式の相談会の形で実施され、留学を考えている学生からは、わかりやすく具体的な情報を得ることができたと、大変好評であった。</p> <p>このように、学生たちが主体的に発案し、教職員を巻き込んで企画を練り、全学参加の報告会へと育て上げた実行力はすばらしい。この活動は、①「問題発見、解決策の立案、実践を行う学問」である総合政策学を体現したものである点、②学年・留学形態を問わず経験者を取り込み、活動をともにすることで継続性が見込めるものとした点、③大学ホームページにおける「留学情報」ページ新設の契機となった点などにおいて、顕著な意義が認められた。</p>

(13)

受賞者	島根県災害ボランティア隊参加メンバー 【団体】
部門	社会活動
理由	<p>平成23年3月11日に発生した東日本大震災の被災地の復興を支援すべく、平成24年6月～11月にわたり計7グループに分かれ参加、遠路（往復3,000km超）高速バスで移動し、現地で規律正しいボランティア活動に従事した。</p> <p>活動場所は、宮城県南三陸町、福島県南相馬市、岩手県内被災市町で、支援活動は、瓦礫撤去被災家屋の片付け、仮設住宅でのサロン活動、子供向け学習支援活動など多岐にわたった。</p> <p>島根県社会福祉協議会のボランティアバスという協力があったとはいえ、自主的に延べ49名の学生が応援に駆けつけたことは、全国からのボランティア活動参加者が大きく減少している中であって、現地の被災者にも大きな希望を与えるものであった。</p> <p>また、ボランティア活動を通し、本学学生が、多くの島根県の一般県民や他大学の学生との交流を深めた意義も大きい。</p>

3. 表彰式について

日時：平成25年3月19日（火）

場所：浜田キャンパス講堂

平成24年度卒業式にあわせて実施する。

4. 問い合わせ先

所属 島根県立大学浜田キャンパス教務学生課

電話：0855-24-2213 FAX：0855-23-7352

電子メール：kyoumu@admin.u-shimane.ac.jp

SANINBIYORI

さ ん い ん び よ り



福井一尊 作品展

Isson Fukui Photo EXHIBITION

益 田

2012年12月14日(金)～12月17日(月) 島根県芸術文化センター「グラントワ」

鳥 取

2012年12月28日(金)～30日(日) 2013年1月4日(金)～6日(日) ギャラリーそら

倉 吉

2013年3月9日(土)～3月17日(日) 民芸画廊

松 江

2013年3月20日(水・祝)～3月25日(月) 島根県立美術館(『のんびり雲写真展』と同時開催)

Isson Fukui Photo EXHIBITION

福井一尊 作品展

SANINBIYORI

さんいんびより

鳥取県、島根県の山陰両県、
全38市町村が舞台の、38枚だけの写真展



福井一尊 Isson Fukui



略歴

- 1976年 夏に生まれる
- 2005年 富士火災アートスペース展(関西国際空港、東京銀座)
- 2005年 現代アートビエンナーレ西日本(大原美術館)
- 2006年 「アートの今、岡山」選出(岡山県内美術館巡回)
- 2007年 個展「光との共鳴、形との対話」(奈義町現代美術館)
- 2010年 「大島時間」島アートプロジェクト(岡山県大島)
- 2010年 「小泉八雲にささげる造形美術展」(松江城天守閣)

現在 島根県立大学短期大学部 准教授



福井一尊は金属造形を主軸に、映像なども併用しながら、容易に一括りにできない多彩な表現活動を行ってきた美術家である。蠟や金属を使った少々トリッキーな外観の作品や、空間をぜいたくに使った斬新なインスタレーションが記憶に新しいところだが、制作者としての福井の意識は、たとえば「立体造形が担うべき表現課題とはそもそも何か」、あるいは「一個人と社会をつなぐことがアートに可能か」といったように、実にオーソドックスなところに向かっている。そんな福井の次の展開は、シンプルな写真表現のみによるプロジェクトで、その名も「さんいんびより」。鳥取・島根両県の全市町村をひとつひとつ訪れるなかで、福井の感性にひかかった光景を絵画的に切り取るのだという。

福井は私に、「まちのてざわりをうつす」と言った。その触覚的思考はやはり、実素材の質感にこだわる造形家ならではのものと言っていいだろう。そして作品化された光景の背後には、「隣町の風景に関心を示さない、ある種孤立した社会に対してアートはどう向き合うべきか」という福井の問題意識が見え隠れしているように思う。

鳥取県立博物館 学芸員 三浦努



益田会場

2012年12月14日(金)～12月17日(月)
島根県芸術文化センター
「グラントワ」多目的ギャラリー
島根県益田市有明町5-15
TEL.0856-31-1860
10時～17時(入場無料)



鳥取会場

2012年12月28日(金)～30日(日)
2013年1月4日(金)～6日(日)
ギャラリーそら
鳥取市栄町658-3 駅前サンロード
TEL.0857-29-1622
10時～18時(入場無料)



倉吉会場

2013年3月9日(土)～3月17日(日)
民芸画廊(土蔵そば2F)
鳥取県倉吉市新町1丁目2429-5
TEL.0858-23-1821
10時～17時(入場無料・木曜定休)



松江会場

2013年3月20日(水・祝)～3月25日(月)
島根県立美術館ギャラリー
『のんびり雲写真展』と同時開催
島根県松江市袖師町1-5
お問い合わせ:0852-20-0253(福井)
10時～18時(入場無料)

山陰の
「小さな文化」を楽しむ

いんびり雲 写真展



2013年3月20日(水・祝)～3月25日(月)
10:00～18:00 入場無料

島根県立美術館ギャラリー (松江市袖師町 1-5)
——福井一尊作品展「さんいんびより」と同時開催——

